

平成29年度

学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

平成30年 9月 27日

岡山自動車大学校
校長 原田公德 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山本 茂

学校関係者評価報告書

平成29年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- 山本 茂 (学校法人第一原田学園 評議員)
- 川上 薫 (一般社団法人 岡山県自動車整備振興会 事業部 課長)
- 松岡 正志 (岡山ダイハツ販売株式会社 総合営業推進部 副部長)
- 小椋 竜太 (岡山ダイハツ販売株式会社 倉敷中央店 係長)

2 学校関係者評価委員会に開催状況

第1回委員会 平成30年9月25日(会場 岡山自動車大学校 会議室)

3 平成29年度学校関係者評価報告

学校関係者評価委員からの主な意見

(1)教育理念・目的・人材育成像

29年より教育理念・スローガンを全教室に掲示し周知徹底に努めているということについて確認。委員長より今後の新たな改善点について説明。

(2)学校運営

学校の特色として追記した箇所を読み上げ確認。
課外活動では具体的にどのような活動をしているか等委員より質問あり。
モータースポーツ競技などにも参加してはどうかとの提言。

(3)教育活動

授業における実習と現場での作業とのギャップが見られる点に関して岡自大検定でそのギャップを埋めていることの確認。
昨年度委員より提言のあった1年生が岡自大検定を見学する際にアンケートを実施した。

(4)教育成果

一級小型自動車整備士の合格率評価項目を1ポイント下げたことの確認。
一級合格率改善に向け更なる工夫と努力が必要である。

(5)学生支援及び保護者との連携

学生寮の評価項目を1ポイント下げたことの確認。
20部屋あるうち5部屋しか埋まっていない現状を受け、リフォーム等の対策が必要である
ことの確認。
遠隔地出身の学生の入学割合と変化について質問。

(6)教育環境

女子学生の募集を増やすための環境整備の提言があったが環境整備をしてもなかなか
募集に繋げるのが難しい。男女の比率とコストを考えると現状維持で妥当かとの意見。

(7)学生募集・受入・入試制度

HP上で合格率を岡山県全体と比較した方が募集効果が上がるのではないか。
その他委員からも同様の意見あり。
送付する募集資料には比較資料が入っている事を確認。

(8)財務

HP上で財務状況の適正さと情報公開をしていることの確認。

(9)法令等の遵守

評価項目を確認し、特に提言なし。

(10)社会貢献

特に提言なし。

総括

全体としては特に問題はなく、適切に評価されている。

評価ポイントが下がっている点が若干気になるが、評価が上がるよう努めてもらいたい。
一級合格率低迷、少子化により学生数確保等、厳しい課題があるが今後も安定した学校運営を
継続してもらいたい。

今後も自動車整備士の社会的地位向上にも尽力し、整備士数の減少に歯止めをかけてほしい。
岡山自動車大学校および全国自動車大学校・整備専門学校協会の共通認識である「国民の安全と
安心を守るのが自動車整備士の使命である」という概念が広く社会認識されることを期待したい。

学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

(1)教育理念・目的・人材育成像

校訓、教育目標、スローガン、育成人材像の周知徹底・実践について取り組みとして各教室へ掲示し、更なる周知徹底に努めている。

(2)学校運営

課外活動の継続性も含め今後も可能な限り学校の特色作りに取り組む。
同一法人に高等学校の自動車科があることから大学校と協働した活動なども企画していく。

(3)教育活動

岡自大検定の完成度をより高められるよう工夫する。
JAMCA(全国自動車大学校・整備専門学校協会)主催の教員研修等には今後も積極的に参加していく。
メーカー主催の技術研修にも可能な限り参加していく。

(4)教育成果

一級合格率を上げるため、対策委員会を少なくとも月一度実施し教員同士が連携し資格取得率向上に取り組める環境を積極的に作っていく。

(5)学生支援及び保護者との連携

現在業者に見積もりを依頼し、学生寮のリフォームに取り組んでいる。

(6)教育環境

夏の猛暑を受け、実習上の断熱工事に取り組んでいる。
女子学生向けの施設設備整備に関してはコスト面も考慮し取り組んでいく。

(7)学生募集・受入・入試制度

委員からの提言を受け、HP上での本校の資格取得優位性を効果的にアピールできるよう工夫していく。全国の合格率と本校の合格率が比較できる情報を掲載する。

(8)財務

適切な運営に努める。HPで情報公開している。

(9)法令等の遵守

今後も国土交通省の定期監査を高評価でクリアできるよう継続して法令遵守に努めていく。

(10)社会貢献

総括

学校関係者委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

今回の委員会では前回の委員会と比較し、提言等は少なかった。そういった中で委員から出された意見に関しては教職員一同真摯に受け止め、対応・改善していきたい。
一級合格率の向上が現在本校にとって最優先課題であるため、早急に改善していくことの重要性を再確認した。

評価項目自体も委員の意見・提言がより出しやすいように今後も常に見直していきたい。